

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
専門学校未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日		今井 秀幸		〒 390-0841 (住所) 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日		青山 織人		〒 390-0841 (住所) 長野県松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル・ホテル学科		平成21(2009)年度	-	平成31(2019)年度				
学科の目的	ブライダル・ホテル学科では、WBW認定ウエディングスペシャリスト、ホテル実務技能検定の資格取得を目指すとともに、ブライダル、ホテル業界で即戦力として活躍できる人材、また高いコミュニケーション能力とホスピタリティ、マナーを身に付けた人材育成を目的とする。									
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	ブライダル、およびホテル業の多岐に渡る学習で修得した技術を生かし、学生プロデュースのリアルウエディングや学生レストランなど実践的な学びを通し、高い専門スキルを身に付ける。さらにブライダルコーディネート検定、およびレストランサービス技能検定の2つの国家資格を取得する。(令和5年度、学科中退率は14%)									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	
			62 単位	24 単位	14 単位	40 単位	0 単位	0 単位	0 単位	
生徒総定員	生徒実員(A)	留學生数(生徒実員の内数)(B)		留學生割合(B/A)						
60 人	24 人	0 人		0 %						
就職等の状況	■卒業生数(C)		15	人						
	■就職希望者数(D)		15	人						
	■就職者数(E)		15	人						
	■地元就職者数(F)		12	人						
	■就職率(E/D)		100	%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		80	%						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		100	%						
	■進学者数		0	人						
	■その他									
	■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 株式会社星野リゾート(ハヶ岳)、(株)平安、東急リゾート&ステイ(株)、(株)フェリス、(株)藤屋、(株)池の平ホテル&リゾーツ、休暇村リゾート安曇野ホテル、プリオコーポレーション(株)、(株)ひらまつ、(株)ジョイフル恵利、蓼科滝の湯(合)、合資会社親湯温泉、東急リゾーツ&ステイ(株)東急リゾートタウン蓼科など									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無					
当該学科のホームページURL	URL : <a href="https://www.mirai.ac.jp/mit/course/bridal-hotel/">https://www.mirai.ac.jp/mit/course/bridal-hotel/</a>									
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)									
	総授業時数									単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数									単位時間	
うち企業等と連携した演習の授業時数									単位時間	
うち必修授業時数									単位時間	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数									単位時間	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数									単位時間	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)									単位時間	
(B: 単位数による算定)										
総授業時数									62 単位	
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数									2 単位	
うち企業等と連携した演習の授業時数									0 単位	
うち必修授業時数									62 単位	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数									2 単位	
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数									0 単位	
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)									0 単位	

教員の属性（専任教員について記入）	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	1人
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人
	計	2人
	上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	2人

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ブライダル、ホテル分野における専門人材育成に必要な基礎から応用・実践までの一貫した教育を施すため、業界企業等の外部人材を活用し、より実践的な教育課程編成及び授業内容を編成する。そのため、学校と業界企業等が参画する教育課程編成委員会を設置する。委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善・工夫」を主とし、教務部の指導・助言機関として位置づける。委員会での協議事項について、教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び授業内容に反映することを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は教務部の下に置く。委員会において学期および年度における「教育課程の成果・反省点・問題点」などについて報告を行う。これを受けて、委員会は「教育課程編成の再検討、授業内容の改善」などを提言・助言する。委員会からの提言や助言を受けて、教務部は検討を行い、校長の許可を経て「次学期・次年度の教育課程、授業内容の見直し」などを行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
蒲生 悟	株式会社アステップ信州 レアルドセゾン セージ支配人	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	①
西村 明美	株式会社たちばな	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	③
大槻 俊子	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 学科長		—
百瀬 久美子	学校法人未来学舎 専門学校未来ビジネスカレッジ 学科職員		—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、2月)

(開催日時(実績))

第20回 令和5年9月21日 11:00～12:00(分散開催1)

令和5年9月25日 16:00～17:00(分散開催2)

第21回 令和6年2月26日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナ渦で落ち込んでいた結婚式件数も戻りつつあるが、コロナ前の慣習に戻らない事項について共有した。若年層のカップルは結婚式を検討されても、住宅購入や海外旅行資金に回す傾向が強く、フォトウエディング需要を見据えた学習プログラムを提案された。さらに、ホスピタリティー産業も積極的なSDGs対策が求められるため、専門学生も就職前にその意識を高める指導を求められた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
 本学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために、学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、ブライダル・ホテル業界の人材育成ニーズに沿った教育課程に基づき、外部講師による実践教育の機会を提供し、ブライダル・ホテル関連のスタッフとしての職業観・勤労観を育むとともに、知識と技術の向上を図ることを企業等の連携に関する基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容  
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 連携企業2社の講師による下記の授業内容を実施。実習態度と実習技能レベルにより5段階評価。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
ブライダル実務1	信州ブライダル協議会会員の各企業のスペシャリストより、ブライダル業界および関連職務について学習し、業界への理解を深め実践力と応用力を身につけることを目的とする。仕上げとして、実際の挙式・披露宴を学生自身がプロデュースし、企画・運営全てに携わる。実習は、契約講師が実技指導を行い、学科教員は授業が円滑に運営できるよう支援する。 学修評価については、契約講師が【実習態度・実習技能レベル】を5段階評価する。	一般社団法人 信州ブライダル協議会
和装コーディネート1	きものの文化や名称、保管法を学習し、振袖、ゆかたの着付技術の習得を目的とする。きものについての現状と着付け時のマナー、美しく着崩れしないボディづくり等、きものに関する知識を深め、2人1組で実習を行う。実習は、契約講師が実技指導を行い、学科教員は授業が円滑に運営できるよう支援する。 学修評価については、契約講師が【筆記試験及び実技試験】実施し、5段階評価する。	株式会社 たちばな

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記  
 研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職業の遂行に必要な知識又は技能を習得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。本学科に関してはブライダル、ホテル関連職に必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて実施される。関係団体、職能団体及び企業等が実施する研修、セミナー、各種展示会(業界動向調査)等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	ユニバーサルマナー	連携企業等:	(株)ミライロ
期間:	令和6年3月27日(水)	対象:	百瀬
内容:	ユニバーサルマナー検定2級合格のための講義70分、実技研修150分、検定試験30分 【研修内容】・多様な方々の特徴と心理状況 ・サポート方法(知的障害者・精神障害者・車いす利用者・視覚障害者・聴覚障害者・高齢者)		

<b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>	
研修名: SNSの危険性とその留意点	連携企業等: セーフティネット総合研究所
期間: 令和5年4月7日(金)	対象: 大槻、百瀬
内容: ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が普及し、コミュニケーションツールとして汎用する中で、安易な書込みがトラブルに発展したり、知り合い同士の空間であるという安心感を利用して詐欺やウイルスの配布を行う事例がある。SNSの危険性とその留意点についての情報を学生に指導するために受講した。	
研修名: ハラスメント研修	連携企業等: 弁護士 出井博文氏
期間: 令和6年3月22日(金)	対象: 百瀬、丸山(千)
内容: 各種ハラスメントを理解し、また、県内外の事例を知ることで、学生指導や保護者対応の参考とし、学生が安心して学校生活を送れるように、また、職場の人間関係も円滑となるよう受講した。	
<b>(3) 研修等の計画</b>	
<b>①専攻分野における実務に関する研修等</b>	
研修名: ブライダル講師勉強会	連携企業等: ウエディングビューティフル協会
期間: 8月、12月、3月	対象: 百瀬、丸山(千)
内容: ブイラダル業界、および実務に関する勉強会	
<b>②指導力の修得・向上のための研修等</b>	
研修名: SNSの危険性とその留意点	連携企業等: セーフティネット総合研究所
期間: 令和6年4月5日(金)	対象: 百瀬、丸山(千)
内容: 前年度に引き続きSNSの危険性とその留意点についての最新情報等を学生に指導するために受講する。	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
<b>(1) 学校関係者評価の基本方針</b>	
学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」を元に、自己点検評価表を策定し、その自己点検評価表の適性度を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論及び意見を基に作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。	
<b>(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応</b>	
<b>ガイドラインの評価項目</b>	<b>学校が設定する評価項目</b>
(1) 教育理念・目標	教育理念目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	特に記載なし
※(10)及び(11)については任意記載。	
<b>(3) 学校関係者評価結果の活用状況</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修成果としての資格の取得率の向上や各学科の授業成果について高い評価をいただくことができました。次年度も引き続き学校全体で取り組む計画としたい。</li> <li>・学校ホームページやSNS等の有効活用についてご意見を頂き、ホームページについてはリニューアルの参考にし、SNS等の活用は今後も研究を続け情報発信をしていく。</li> <li>・就職して困らないよう今後も知識・技術だけではなく、挨拶やコミュニケーション、チームワークなど授業内でも指導をしていく。</li> </ul>	

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
令和5年10月20日現在			
名前	所属	任期	種別
片瀬 拓弥	学校法人清泉女学院 清泉女学院短期大学	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
矢内 和博	学校法人松商学園 松本大学	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	学識経験者
林 兵司	パン工房 ブール	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
西村 明美	株式会社たちばな松本あづみの店	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
山田 佳代子	ポアレスチュール	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
北村 理恵子	Dog Life Lien	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
溝口 諒	でざいんと	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗ヶ原病院	令和4年10月1日～令和6年9月30日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
 ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(                    ))  
 URL:                    <https://www.mirai.ac.jp/information/index.html>  
 公表時期:              令和6年6月下旬

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。ただし、国際連携については、今後、実施後に公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法  
 ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(                    ))  
 URL:                    <https://www.mirai.ac.jp/information/index.html>  
 公表時期:              令和6年6月下旬

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ブライダル・ホテル学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当 年次・ 学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
								講 義	演 習	実 験・ 実習・ 実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択													
1	○		情報リテラシー1	ワープロ検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成および基本的なトラブルシューティングを習得する。習熟度に応じた検定を受験	1 前	30	1			○	○		○		
2	○		情報リテラシー2	ワープロ検定および文書デザイン検定の問題を解きながら、タイピングの基礎、Windows操作、Wordによる文書作成および基本的なトラブルシューティングを習得する。習熟度に応じた検定を受験	1 前	30	1			○	○		○		
3	○		情報リテラシー3	文書デザイン検定、表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。習熟度に応じた級の検定を受験。	1 後	30	1			○	○		○		
4	○		情報リテラシー4	表計算検定の問題を解きながら、効率的なデータ入力、ワークシート編集、関数を利用した計算式の入力、グラフ作成等について習得する。習熟度に応じた級の検定を受験。	1 後	30	1			○	○		○		
5	○		情報リテラシー5	プレゼンテーション検定の問題を解きながら、プレゼンテーション作成の練習や画像加工等を習得する。習熟度に応じた級の検定を受験。	2 前	30	1			○	○		○		
6	○		キャリアプランニング1	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、労働法と社会保険の基礎を学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○		
7	○		キャリアプランニング2	就職活動の円滑な進め方を学ぶ。履歴書作成、電話対応、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1 後	30	1	○			○		○		
8	○		キャリアプランニング3	社会人としての心構え、履歴書の書き方、電話対応・面接の再練習、企業情報の提供など、就職活動のためのサポートを行う。	2 前	30	1	○			○		○		
9	○		実務教養1	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【英会話、サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1 前	30	1	○			○		○		
10	○		実務教養2	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【英会話、サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1 後	30	1	○			○		○		
11	○		実務教養3	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【英会話、サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	2 前	30	1	○			○		○		

12	○	実務教養4	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【英会話、サービス接遇マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用SPI対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1 後	30	1	○		○	○								
13	○	総合演習1	主として、リメディアル教育を実施する。【読み・書き・計算】、【生活指導・道徳指導】など、中学校卒業程度までの知識の復習を行い、専門科目の修得に支障が出ないようにする。	1 通	30	1	○		○	○								
14	○	総合演習2	主として、リメディアル教育を実施する。【読み・書き・計算】、【生活指導・道徳指導】など、中学校卒業程度までの知識の復習を行い、専門科目の修得に支障が出ないようにする。	2 通	30	1	○		○	○								
15	○	ブライダル実務1	信州ブライダル協議会会員の各スペシャリストより、ブライダル業界の現状や、プロとしての振る舞い、お客様のニーズに合わせた接客の仕方等を学ぶ。	1 後	30	1			○	○	○	○	○					
16	○	和装コーディネート1	着物の種類、名称、部位、たたみ方を学習し、帯結び（太鼓結び）と他装の技術を習得する。また、和装の所作など、着物を着たときのマナーも学習する。	1 前	30	1			○	○	○	○	○					
17	○	ブライダル実務2	プロとしての振る舞いやお客様のニーズに合わせた接客方法を学ぶ。	2 後	30	1			○	○	○	○						
18	○	和装コーディネート2	着物の種類、名称、部位、たたみ方を学習し、帯結び（太鼓結び）と他装の技術を習得する。	2 前	30	1			○	○	○	○						
19	○	Weddings Beautiful 1	現在の日本の結婚式のルーツともいえる、欧米型ウエディングの基礎とスタイルを習得し、WBW「認定ウエディングスペシャリスト」の資格取得を目標とする。	1 後	90	3	○		○	○								
20	○	Weddings Beautiful 2	現在の日本の結婚式のルーツともいえる、欧米型ウエディングの基礎とスタイルを習得し、WBW「認定ウエディングスペシャリスト」の資格取得を目標とする。	2 前	90	3	○		○	○								
21	○	ブライダルプランニング1	日本のウエディングの歴史、慣習、スタイルなどの基礎を学習する。またウエディングプランナーの業務の流れと、挙式施行方法、進行管理についての知識を身に付ける。	1 前	60	2			○	○	○							
22	○	ブライダルプランニング2	実際の挙式・披露宴の企画から打ち合わせ、婚礼施行・進行管理までを学生自身が行い、結婚式全体をプロデュースする。企画力、提案力、接客マナーを実践的に学習する。	1 後	60	2			○	○	○							



23	○	ブライダルプランニング3	ウエディングプランナーの業務の流れと、挙式施行方法、進行管理についての知識を身に付ける。またウエディングプランナー認定試験の合格を目指す。	2前	60	2			○	○	○							
24	○	ブライダルプランナー演習	国家資格ブライダルコーディネーター技能検定3級試験対策。結婚式の基本知識とお客様対応を学ぶ。	2後	60	2			○	○	○							
25	○	ブライダル総論	ブライダルの基礎から専門知識、挙式・披露宴の流れなど、オリジナルウエディングに必要なプランニング技法を学習する。WBJ認定ウエディングプランナー検定の資格取得を目標とする。	2後	60	2	○			○	○							
26	○	宿泊サービス	ホテルの宿泊部門の基礎を学び、フロント業務、ベル業務の実技を中心に、お客様対応と電話対応を学ぶ。	1通	30	1	△		○	○	○							
27	○	料飲サービス1	ホテルのレストラン部門、宴会部門の基礎を学び、備品の名称や配膳の実技を習得する。	2通	30	1	△		○	○	○							
28	○	料飲サービス2	ホテルのレストラン部門、宴会部門の基礎を学び、備品の名称や配膳の実技を習得する。	2通	30	1	△		○	○	○							
29	○	ホテル総合演習1	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	1前	30	1		○	△	○	○							
30	○	ホテル総合演習2	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	1後	30	1		○	△	○	○							
31	○	ホテル総合演習3	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	2前	30	1		○	△	○	○							
32	○	ホテル総合演習4	ホテル業務全般を学習し、業務に必要な接客サービスからビジネスマナーまで、あらゆるシーンに対応できる接客術を習得する。ホテル実務技能検定の資格取得を目標とする。	2後	30	1		○	△	○	○							
33	○	レストランサービス実習1	国家資格レストランサービス技能検定3級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1前	30	1			○	○	○							
34	○	レストランサービス実習2	国家資格レストランサービス技能検定4級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1前	30	1			○	○	○							
35	○	レストランサービス実習3	国家資格レストランサービス技能検定5級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1後	30	1			○	○	○							
36	○	レストランサービス実習4	国家資格レストランサービス技能検定6級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	1後	30	1			○	○	○							
37	○	レストランサービス実習5	国家資格レストランサービス技能検定7級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	2前	30	1			○	○	○							

38	○	レストランサービス実習6	国家資格レストランサービス技能検定8級検定対策。西洋料理の接客マナーを正しく身に付け食事の楽しさや心に残る時間を演出するホテル内レストランにおける接客サービスを学ぶ。	2前	30	1				○	○	○							
39	○	ホテル概論	マーケティング理論の習得 ポーターの経営戦略理論の習得 ホテル・ブライダル業における経営戦略立案	1前	30	1				○	○	○							
40	○	料飲概論	食品に関する一般的な知識、西洋料理に使用される食材、調理法、飲料知識の習得。	1前	30	1	○				○	○							
41	○	外国語	中国語の正しい発音、声調の基本と会話の基礎を学ぶ。	2後	30	1				○	○	○							
42	○	ドレスコーディネーター1	ドレスコーディネーターに必要な、衣裳全般の基礎知識、コーディネート技法、接客方法を習得する。WBJ認定ドレスコーディネーター検定の取得を目標とする。	2前	60	2	○				○	○							
43	○	ドレスコーディネーター2	ドレスコーディネーターに必要な、衣裳全般の基礎知識、コーディネート技法、接客方法を習得する。WBJ認定ドレスコーディネーター検定の取得を目標とする。	2後	30	1	○				○	○							
44	○	パーティープランニング1	日本の4つの挙式スタイルの基礎を学習し、模擬人前式、模擬チャペル式または校内挙式の企画から施行をし、挙式の流れを理解する。オリジナル挙式の企画力と提案力を身に付ける。	1前	60	2				○	○	○							
45	○	パーティープランニング2	日本の5つの挙式スタイルの基礎を学習し、模擬人前式、模擬チャペル式または校内挙式の企画から施行をし、挙式の流れを理解する。オリジナル挙式の企画力と提案力を身に付ける。	2前	60	2				○	○	○							
46	○	美容実習	サービス業に携わるための身だしなみとしてのセルフメイクやブライダルメイクの技術を身に付ける。	1前	30	1				○	○	○							
47	○	カラーコーディネーター1	テーブルコーディネーターやファッションなどに活かせる、色彩論、色相、トーンなどの色彩基礎知識を学ぶ。色彩検定等の取得を目標とする。	2前	30	1	○				○	○							
48	○	カラーコーディネーター2	テーブルコーディネーターやファッションなどに活かせる、色彩論、色相、トーンなどの色彩基礎知識を学ぶ。色彩検定等の取得を目標とする。	2前	30	1	○				○	○							
49	○	衛生学	食品に関する一般的な知識、公衆衛生に関する一般的な知識の習得。	1後	30	1	○				○	○							
50	○	サービス論1	宴会の種類及び運営とレストランサービスに関する一般的な知識の習得。	1後	30	1	○				○	○							

51		○	サービス論 2	宴会の種類及び運営とレストランサービスに関する一般的な知識の習得。	2 前	30	1	○			○	○						
52		○	メディアデザイン	プロフィールビデオやエンドロール等の映像制作、インターネット等各種メディアでのデジタルコンテンツ制作・活用等について学習する。	1 後	30	1		△	○	○		○					
53		○	ユニバーサルマナー	全ての人に公平な情報とサービスを提供するための知識を身に付ける。ユニバーサルマナー検定3級の取得を目標とする。	1 前	30	1		○		○		○					
54		○	学外実習	テーマパークオフィシャルホテルなどでのサービス研修を通して、職務への理解を深め、ホスピタリティを身に付ける。	1・ 2 通	60	2				○	○		○				
55		○	卒業研究・制作 1	2年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2 後	30	1		△	○	○		○					
56		○	卒業研究・制作 2	2年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2 後	30	1		△	○	○		○					
57		○	卒業研究・制作 3	2年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2 後	30	1		△	○	○		○					
58		○	卒業研究・制作 4	2年間の学習を通して得た知識を活かし、業界研究や制作を行う。	2 後	30	1		△	○	○		○					
59		○	総合実習 1	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	1 前	30	1				○	○		○				
60		○	総合実習 2	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	1 後	30	1				○	○		○				
61		○	総合実習 3	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	2 前	30	1				○	○		○				
62		○	総合実習 4	TOEIC対策。単語の基礎を学習と発声練習を行いスコアアップを目指す。	2 後	30	1				○	○		○				
63		○	総合実習 5	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	1・ 2 通	30	1				○	○		○				

64		○	総合実習 6	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	1・2通	30	1			○	○	○		
65		○	総合実習 7	授業で身につけた知識や技術を、企業等（ホテルや専門式場等）の現場で実践し、専門スタッフとしての総合力を身につける。	1・2通	30	1			○	○	○		
合計						33	科目	62 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：62単位以上の単位取得		1 学年の学期区分	2 期
【必修科目】2単位, 【選択必修科目】60単位 単位制履修に関する留意事項 履修方法：①30単位時間を1単位とする。1年間に取得できる単位は最大45単位までとする。 ②単位数が2以上の科目は、30単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。		1 学期の授業期間	17 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。